

NAGASE



2012年(平成24年)3月期 決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社

2012年5月25日

◆ 目 次 ◆

- 2012年3月期の決算概況
- 2013年3月期業績見通し
- 中期経営計画「*CHANGE* 11」総括
- 新中期経営計画「*Change-S2014*」について

2012年3月期の決算概況

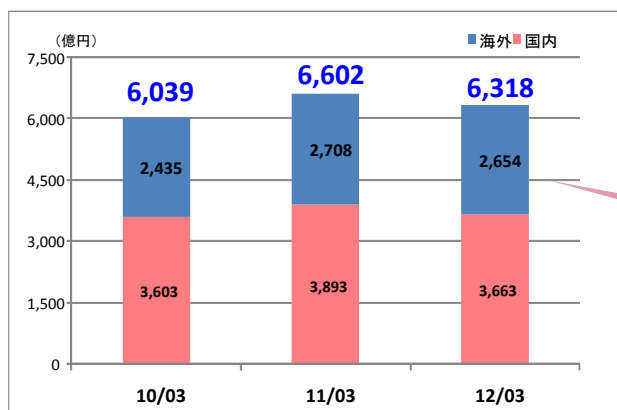
震災の影響から回復の動きが見られたものの、急激な円高の進行、欧米での需要減、タイの洪水による影響、国内液晶メーカー向けビジネスの停滞等により減収減益
(売上総利益率0.2%改善)

(単位:億円)

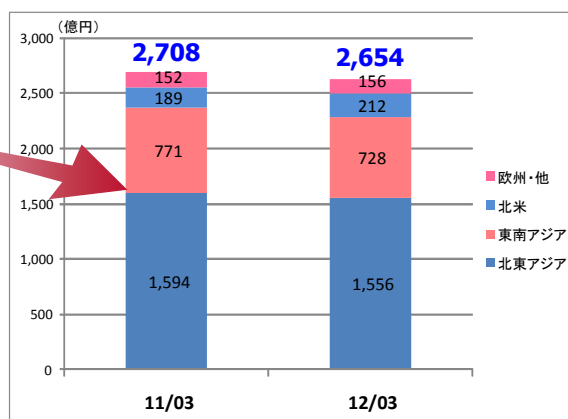
	11/03	12/03	増減	前期比	見通し (10月時点)
売上高	6,602	6,318	▲283	96%	6,300
売上総利益 (利益率)	730 (11.1%)	716 (11.3%)	▲13	98%	719 (11.4%)
販売管理費	▲542	▲582	39	107%	▲564
営業利益	187	134	▲53	72%	155
経常利益	206	156	▲49	76%	170
当期純利益	128	85	▲42	67%	100
1株当たり当期純利益	99円76銭	66円69銭			
為替レート	@87.31	@79.62			

新規連結会社: 福井山田化学工業㈱、Sofix Corp.、長瀬フィルター㈱、㈱キャプテックス、㈱林原(1ヶ月)、Engineered Materials Systems Inc.(3ヶ月)
新規持分法適用会社: オー・エヌ・コロボ㈱、長瀬カラーケミカル㈱(第4四半期より持分法適用会社となる)

売上高6,318億円(国内3,663億円、海外2,654億円)前期比283億円減(国内230億円減、海外53億円減)



海外売上の地域別内訳(前期比)

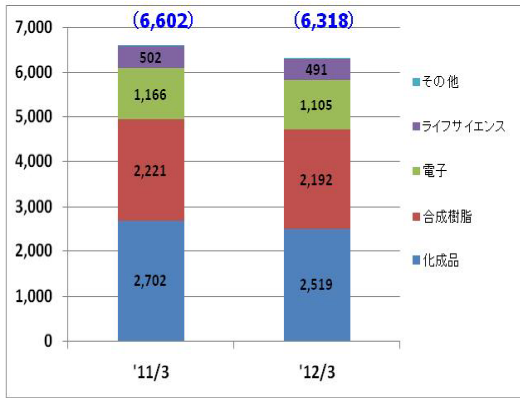


— 海外売上比率は上昇(41%→42%) —
海外売上の減少に比し、国内売上の減少が大きく、結果、海外での売上比率が上昇。

ドル円平均レート3年推移

'10/03通年	'11/03通年	'12/03通年
93.71	87.31	79.62
△ 9.1(高)	△ 6.4(高)	△ 7.7(高)

セグメント別売上高 (単位:億円)



セグメント別の売上概況 (前期比)

化成品 2,519億円 (▲ 183億円 V93%)

- 国内は、ディスプレイ関連向け機能色素、HDD及び半導体業界向け精密研磨関連部材等の売上が減少
- 海外は、北東アジアにおいてゲーム機器関連の販売不振による影響により売上が減少
- 東南アジア・北米地域では主に自動車関連塗料の好調により売上が増加

合成樹脂 2,192億円 (▲ 28億円 V99%)

- 国内売上は、中国向け射出成型機の輸出が減少
- 下期以降は自動車関連事業の復調により微増
- 海外は、自動車業界の好調により北東、東南アジア及び北米で売上が増加
- 欧州景気低迷による欧州向け家電の需要低下や、OA関連での高価格戦略が不調

電子 1,105億円 (▲ 61億円 V95%)

- 重電及び携帯電話向けの変性エポキシ樹脂の売上が好調
- TV用液晶パネル及び半導体製造用薬液の売上が減少
- 光学フィルムや、タッチパネル、スマートフォン、LED照明用の商材が好調
- TV用液晶パネル関連部材の加工ビジネスからの撤退により、全体として売上は減少

ライフサイエンス 491億円 (▲ 10億円 V98%)

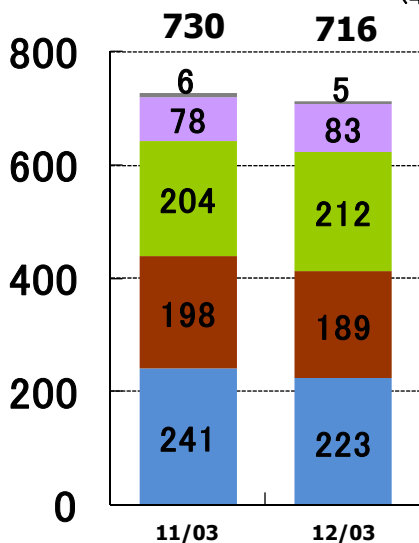
- 医薬製剤関連で注射剤等の売上が増加
- 医薬品原料・中間体関連、生活資材や農業関連の売上が減少
- 当期に上市した化粧品売上が堅調に推移
- 健康食品やメイクアップ関連商品の売上減少により全体として売上は減少
- ※榊林原について、3月単月のPLを連結(売上高20.7億円)

セグメント別売上増減額 (前期比) (単位:億円)



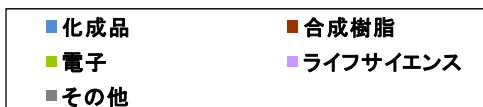
売上総利益 : 716億円 ▲13億円 1.9%減

(単位:億円)



セグメント別 売上総利益 (前期比)

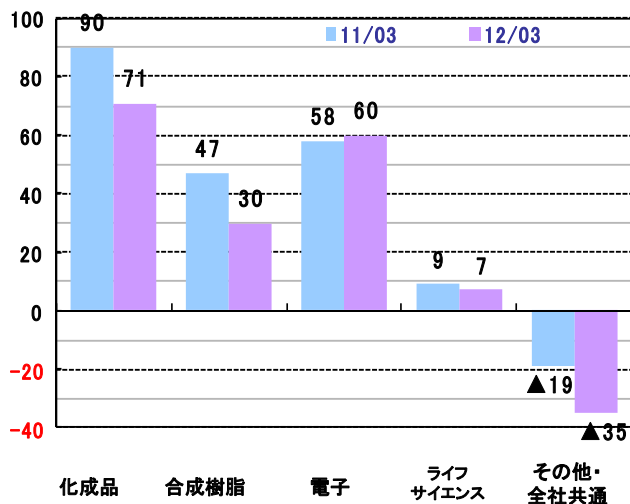
化学成品	223億円	▲17億円	7.4%減
合成樹脂	189億円	▲8億円	4.4%減
電子	212億円	+7億円	3.9%増
ライフサイエンス	83億円	+5億円	6.8%増



営業利益 : 134億円 ▲53億円 28.3%減

<セグメント別 営業利益>

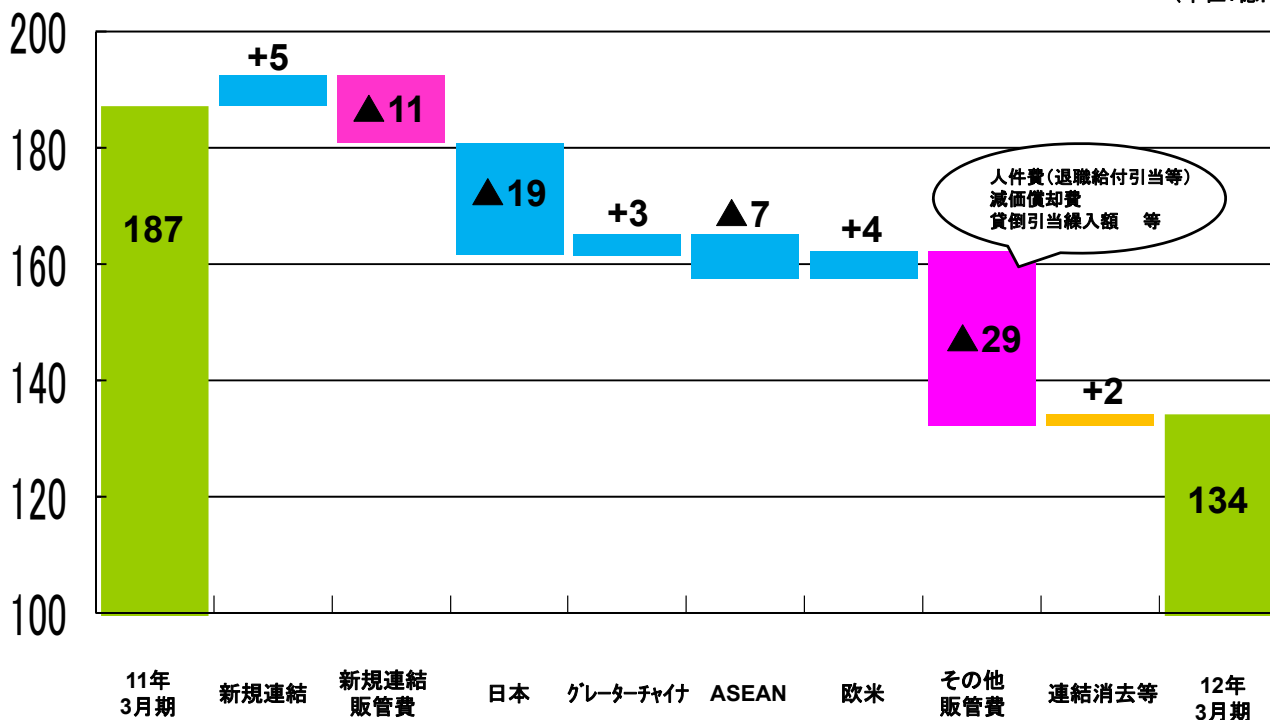
(単位:億円)



セグメント別 営業利益(前期比)

化粧品	71億円	▲19億円	21.3%減
合成樹脂	30億円	▲16億円	35.5%減
電子	60億円	+1億円	3.3%増
ライフサイエンス	7億円	▲2億円	25.7%減

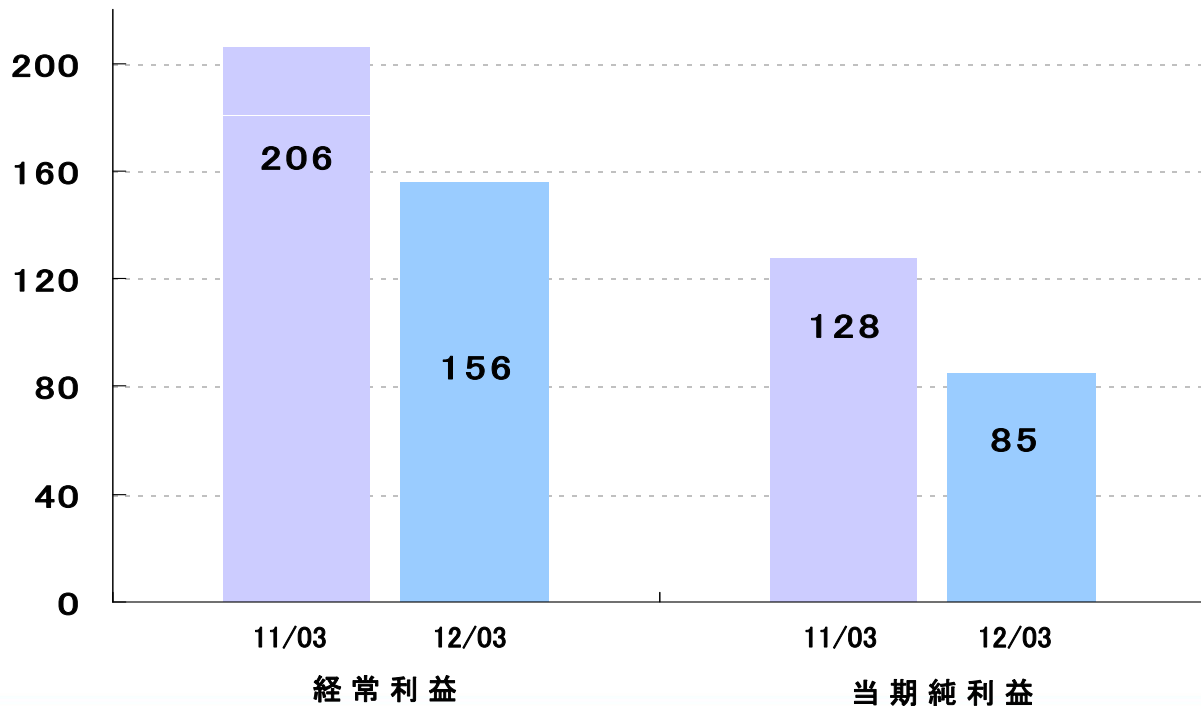
(単位:億円)



■:売上利益の増減
■:販管費の増減

経常利益：156億円 ▲49億円 24.3%減

(単位:億円) 当期純利益：85億円 ▲42億円 33.6%減



- ◆(株)林原の買収等により、有形・無形固定資産及び借入金等が増加し、総資産755億円増加
- ◆月末休日要因等による売上債権の増加、また在庫増加等により運転資金126億円増加

(単位:億円)

《資産》	11/3	12/3	増減	《負債及び純資産》	11/3	12/3	増減
現金及び預金	472	291	▲180	支払手形及び買掛金	1,016	1,091	+74
受取手形及び売掛金	1,861	1,977	+115	短期借入金	161	501	+340
棚卸資産	367	452	+85	その他流動負債	206	223	+16
その他流動資産	72	101	+28	長期借入金	105	382	+276
有形固定資産	399	567	+168	退職給付引当金	72	100	+27
無形固定資産	36	574	+537	その他固定負債	96	81	▲14
投資有価証券	507	490	▲17	株主資本	1,959	2,011	+52
その他固定資産	37	53	+16	(うち自己株式)	(▲54)	(▲54)	(▲0.0)
				有価証券評価差額金	131	127	▲4
				為替換算調整勘定	▲76	▲91	▲15
				新株予約権	2	1	▲1
				少数株主持分	75	79	+3
				純資産合計	2,093	2,127	+34
				(自己資本比率)	(53.7%)	(45.4%)	(▲8.3%)
資産合計	3,753	4,508	+755	負債及び純資産合計	3,753	4,508	+755

(単位:億円)

投資額 702	運転資本	79
	有形固定資産、 その他資産・負債	90
外部借入 580 手元資金 122	繰延税金資産	90
	無形固定資産	218
	繰延税金負債	△78
	のれん	303

- (年間影響)
- 主要製品単位で償却
販売費及び一般管理費へ
※13~17年で定額償却 **△15億円**
 - 法人税等調整額へ **+ 5億円**
 - 販売費及び一般管理費へ
※20年で定額償却 **△15億円**

林原の連結子会社化による影響(P/L)

	2012年3月期 (1ヶ月)	2013年3月期 (12ヶ月)
売上高	20億円	273億円
営業利益	△1億円	30億円
当期純利益	△1億円	26億円

- ◆営業キャッシュ・フロー: 税前利益の計上及び減価償却費の足し戻しの計237億円の収入があったものの、運転資金の増加や法人税等の支払により、56億円の収入
- ◆投資キャッシュ・フロー: (株)林原への出融資等により810億円の支出
- ◆財務キャッシュ・フロー: (株)林原への出融資資金の借入等により569億円の収入

(単位:億円)

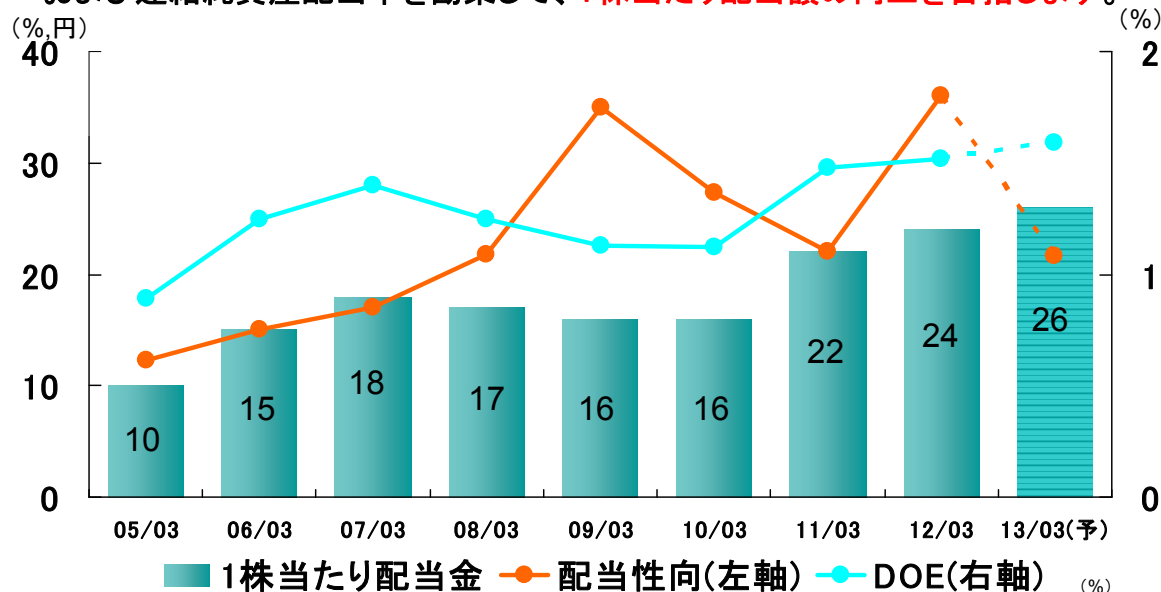
	12/03	主な内訳	11/03
営業活動による キャッシュ・フロー	+56	税前利益 165億円 減価償却費 72億円 運転資金 ▲108億円 法人税等 ▲78億円	+109
投資活動による キャッシュ・フロー	▲810	有形固定資産の取得 ▲112億円 無形固定資産の取得 ▲14億円 買収等による支出 ▲677億円	▲91
財務活動による キャッシュ・フロー	+569	短期借入金の増加 +229億円 長期借入金の増加 +392億円 配当金の支払い ▲32億円	+35
現金及び 現金同等物の増減	▲188		+41
新規連結に伴う現金 及び現金同等物の増減	+1		+2
現金及び 現金同等物の期末残高	285	貸借対照表上の現預金残高291億円-内3ヵ月超の定期預金残高6億円=285億円	472

(単位:百万円)

	社名	売上高	前期比	営業利益	前期比	当期純利益	前期比
単体	長瀬産業	435,990	95%	2,578	48%	7,628	100%
製造会社	ナガセケムテックス	27,191	88%	2,748	72%	1,540	67%
	ナガセ医薬品	3,631	106%	192	162%	89	181%
	※製造会社計※	76,539	112%	4,209	77%	1,908	51%
国内販売会社	ナガセプラスチック	29,712	105%	272	142%	132	142%
	ナガセケミカル	13,488	97%	205	92%	104	84%
	ナガセエレックス	7,503	105%	178	132%	93	116%
	※国内販売会社計※	82,554	95%	1,128	92%	597	76%
海外販売会社	長瀬香港有限公司	49,521	93%	783	66%	761	78%
	上海長瀬貿易有限公司	24,028	122%	301	100%	200	105%
	ナガセタイランド	23,688	97%	794	76%	589	78%
	※海外販売会社計※	233,275	101%	4,759	79%	4,111	94%

※注) 各カテゴリの合計は、対象会社の単純合算値であり、連結決算数値と一致いたしません。

収益力の向上と企業体質の一層の充実強化を図り、連結業績連動を基礎とした、株主の皆様への安定配当を継続して行うことを基本方針としており、連結配当性向および連結純資産配当率を勘案して、1株当たり配当額の向上を目指します。



※12/3期の期末配当は、2012年6月開催予定の株主総会にて付議予定

2013年3月期業績見通し

16

2013年3月期 業績見通し

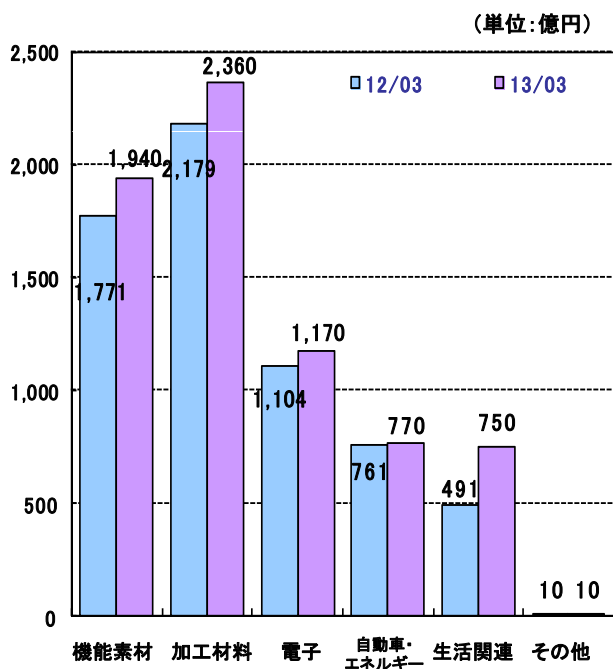
(単位: 億円)

	12/03 実績	13/03 見通し	増減	前期比
売上高	6,318	7,000	+681	111%
売上総利益 (利益率)	716 (11.3%)	875 (12.5%)	+158	122%
販売管理費	582	680	+98	117%
営業利益	134	195	+60	145%
経常利益	156	205	+48	131%
当期純利益	85	155	+69	181%
1株当たり年間配当金	24円	26円	-	-
想定為替レート(1US\$)	79.6円	78.0円		

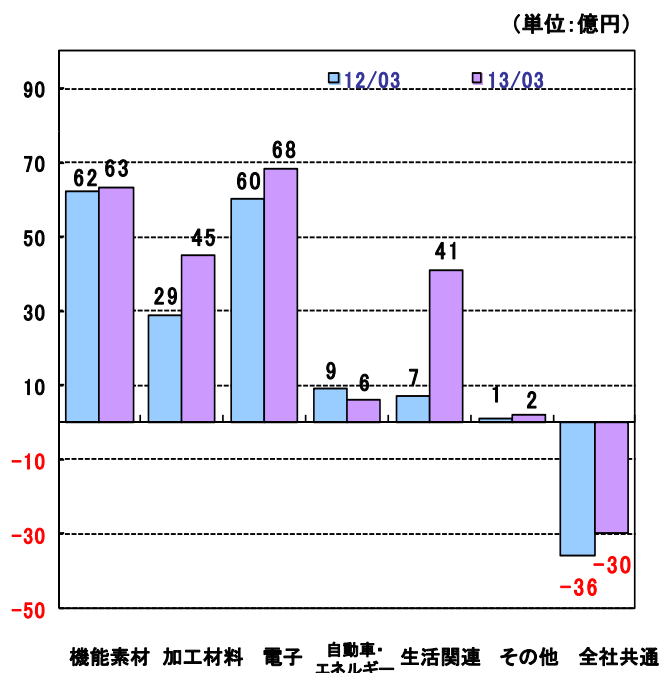
- 本業績予想には、株林原の業績について売上高273億円、営業利益30億円(※)、当期純利益26億円を含んでおります。
※株林原の株式取得により発生した無形固定資産(のれん含)の償却額として、販売費及び一般管理費30億円を差し引いております。
- 当社及び国内関係会社において有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更し、一部資産の耐用年数の見直しを行い、従来の減価償却方法と比べ約22億円減少する見込みであり、本業績予想に当該影響額を含んでおります。

17

<セグメント別 売上見通し>



<セグメント別 営業利益見通し>



※12/03期の実績値は、旧セグメントの実績値を新セグメントに組み替えて算出してあります。

中期経営計画「CHANGE 11」総括

経営理念

社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、
社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、
社員の福祉の向上と社会への貢献に寄与する

将来の目指す姿

(顧客に対して)
市場構造・環境の変化を先取りし、
独自のソリューションを提案すること
で顧客とともに発展する企業

(社員に対して)
事業を通じて、夢と理想を
実現する場を提供する企業

(株主・投資家に対して)
技術を基盤として、強みを活かした
事業を中心に成長し価値を
高め続ける企業

(社会に対して)
社会に貢献し、地球環境に
寄与する企業

基本戦略
事業と運営の質の向上

外部環境の
大きな変化

・企業倫理
・環境・資源問題

グループ内の
変化

・製造会社売上増
・海外売上比率高
・海外就労人員増

変わらなければいけないという
意識

経営理念
(誠実に正道を歩む)

1 事業の選択と集中

- (株)林原の子会社化
- “カラーフォーマー(感熱色素)”事業の買収、関連会社の子会社化
- 不採算事業からの撤退(導光板製造事業など)

2 環境・エネルギー関連技術の取り組み

- リチウムイオン電池モジュール開発・製造会社(株)キャプテックス 子会社化および量産工場着工
- 微生物を利用したレアメタル回収プロセス実用化に向けた取り組みに着手
- 環境・エネルギー事業推進の専任組織設置(環境エネルギー事業推進室、エナジーデバイス室、12年度に統合)

3 研究・開発・製造機能の強化

- Engineered Materials Systems Inc.(米)の子会社化(変性エポキシ樹脂製造拠点)
- ナガセケムテックス(株) 生産棟の拡充(播磨、福知山)
- インドにコーティングラボ設置

4 グローバル化の推進

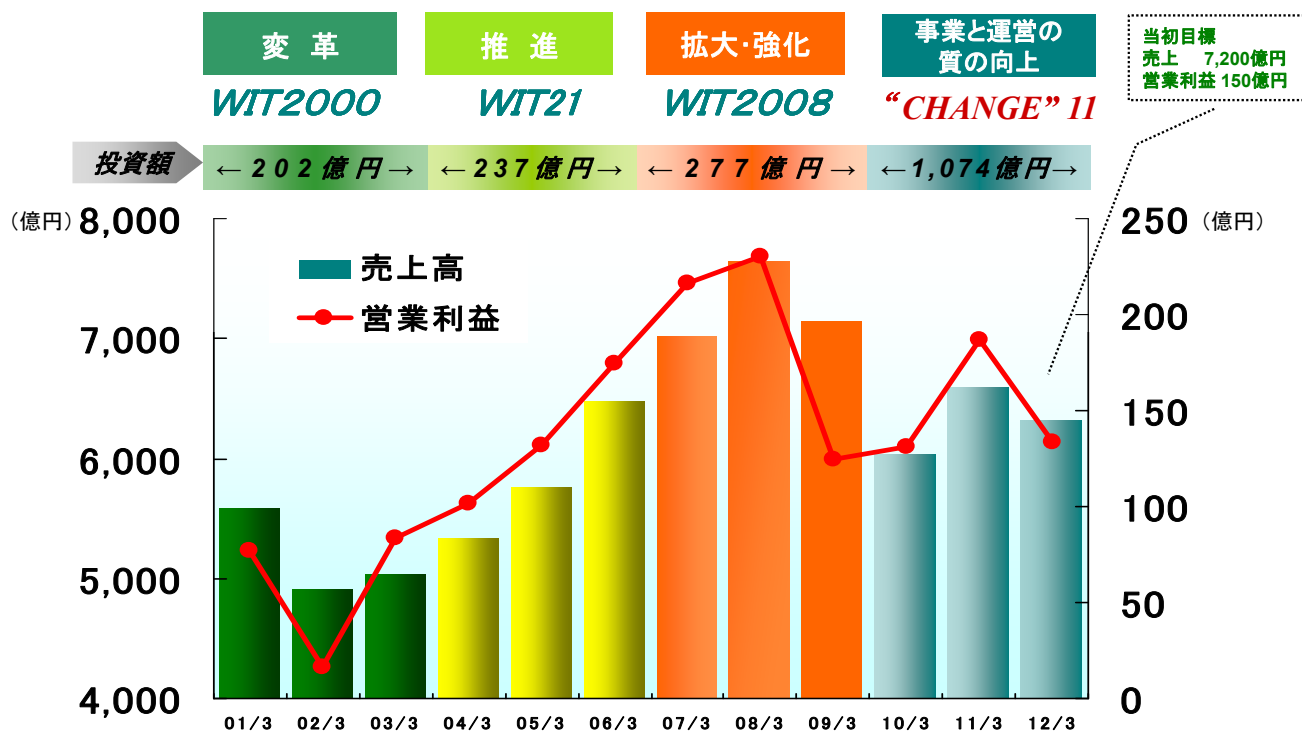
- 海外拠点の拡充(メキシコ・オーストラリア・バングラデシュ・中国)
- サウジアラビアのペトロラービグへの樹脂添加剤ビジネススタート
- 製造JV設立(自動車用フレームラミネート/メキシコ、自動車内装用ブロー成型品/米国)

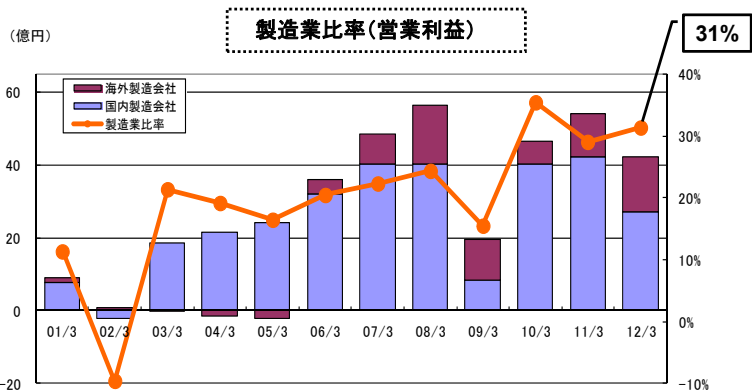
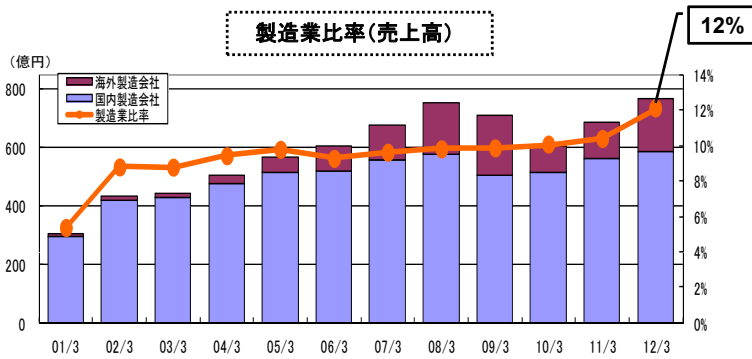
5 リスクマネジメントの強化

- 各事業部におけるBCP(事業継続計画)の整備、社内サーバーの外部データセンターへの移設
- 商品リスク、品質リスクなどを管理する体制の整備・強化
- 「長瀬企業管理(上海)有限公司」を設立-GC地域における迅速な意思決定、リスクマネジメントの強化

6 ダイバーシティの推進とワークライフバランスの支援

- 国内外のナガセグループ社員対象の階層別研修の充実
- 職場環境の整備を推進(ノー残業デー、育児休業取得制度拡充、外部講師セミナー実施など)





投資(3年間)

実績
1,074億円

当初予定
300億円

環境・エネルギーを
中心とした新規投資

200億円

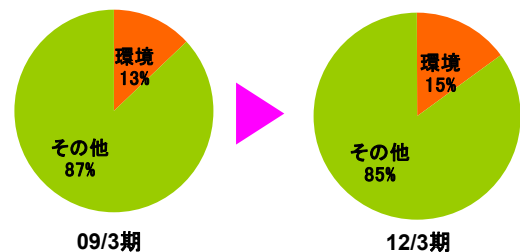
既存設備更新
100億円

12/3
実績
166億円
+702億円

11/3実績
97億円

10/3実績
107億円

環境・エネルギー関連売上高比率



「CHANGE 11」の成果

◆グループ全体における「質の向上」への変革意識の浸透

<事業の質の向上>

- ✓ 製造関連を中心とした新規事業投資の拡大
- ✓ グループ内協業意識の高まり、取り組みの開始
- ✓ 戦略に合わないビジネス、不採算事業の整理

<運営の質の向上>

- ✓ 海外事業基盤の強化
- ✓ 連結経営体制の強化、ITインフラの整備
- ✓ リスクマネジメント体制の強化

次期中計に向けた課題

- ◆ 変革実行のスピードアップ
- ◆ 重点分野事業の拡大と高付加価値化の推進
- ◆ 協業をベースとした事業化の実現
- ◆ 事業軸と地域軸のマトリックス運営の強化
- ◆ 多様なビジネスモデルへ対応するためのノウハウ、リソースの拡充

新中期経営計画

Change-S2014

外部環境の変化

- ◆ 日本の市場成長率鈍化と新興国市場の拡大
- ◆ FTAの広がりによる競争環境の変化
- ◆ 自然災害によるサプライチェーンへの影響
- ◆ 製造業の海外移転加速
- ◆ 原発問題を発端とした新エネルギーへの期待
- ◆ 世界的な環境意識の高まり
- ◆ バイオ、環境・エネルギー技術開発競争の激化
- ◆ 人口増加、高齢化に伴うライフ・ヘルスケア分野の市場拡大
- ◆ カントリーリスクの高まり（欧米、アラブ諸国、中国など）
- ◆ 円高の進行

“CHANGE”11 ~ To the Next Stage ~

【位置付け】 “CHANGE”の浸透(自ら変わることへの意識改革)
 【基本戦略】 事業と運営の質の向上

Change-S2014

【位置付け】 “CHANGE”の加速(機能強化による変革のスピードアップ)

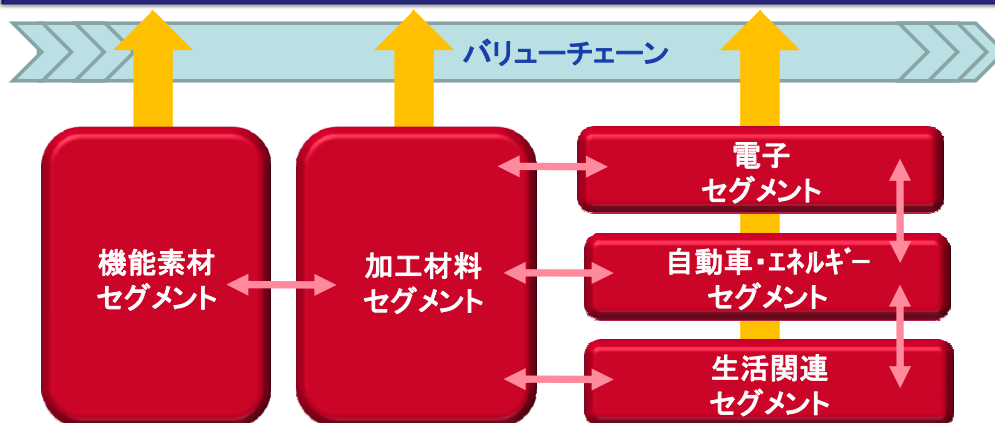
【基本戦略】 事業と運営の質の向上を加速して、重点分野のバリューチェーンにおいてナガセグループの総合機能を発揮し、独自のソリューションをグローバルに展開することにより、持続的に成長する。

※ Change-S2014 の「S」には、「Speed Up」、「Step Up」、「Sustainable Growth」という意味を含めています。

Change-S2014

バリューチェーン視点でのセグメント再編成により注力事業と機能分担を明確にし、各機能を組み合わせた総合力により「バイオ」「環境・エネルギー」「エレクトロニクス」技術を活用した重点分野を中心に事業成長を目指す。

<重点分野>
 「バイオ」、「環境・エネルギー」、「エレクトロニクス」技術を活用した産業



重点施策 : ◆グローバル化の推進 ◆高付加価値事業の創造 ◆運営基盤の強化

Change-S2014

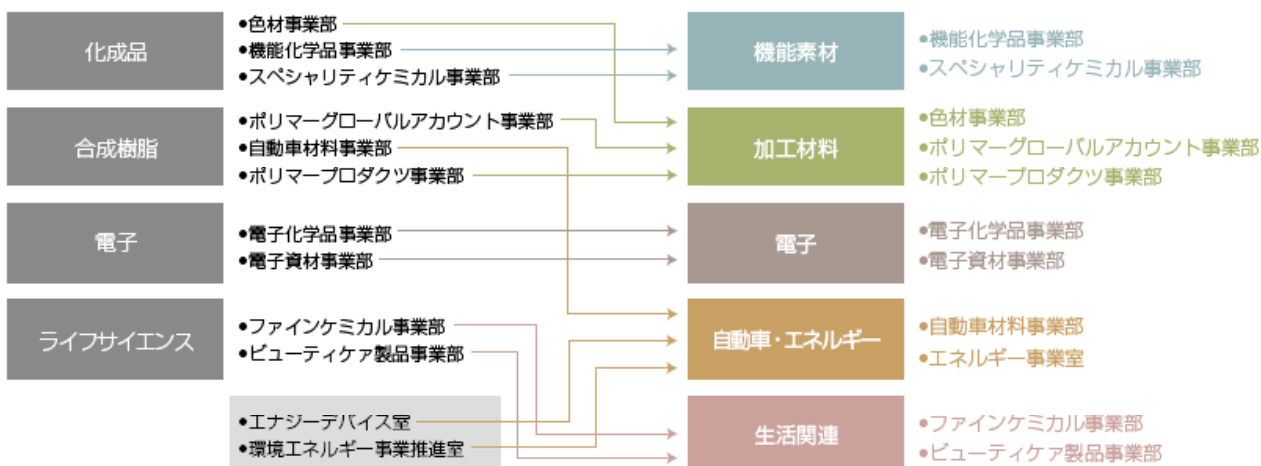
セグメント	機能(期待する姿)
機能素材セグメント	ユニーク・安定・安心をキーワードとした素材の開発・開拓を重点機能とし、3重点分野に関連する業界、及び他のセグメントに提供するセグメント
加工材料セグメント	素材の一次加工(フォーミュレーション、コンパウンド)や二次加工(成形品、機能性フィルム)における設計機能・加工機能を重点機能とし、自ら特色のある材料の用途展開を行うセグメント
電子セグメント	電子分野の潜在的なニーズを先取りし、オリジナリティの高い製品やサービスを提供し続けるセグメント。川下からの情報を他セグメントに提供する機能も持つ
自動車・エネルギーセグメント	自動車をはじめとする環境配慮型エネルギー関連分野で技術革新を核とした新たなビジネスモデルを構築し、グローバルに事業展開するセグメント
生活関連セグメント	既存事業領域にとらわれず、医・食・生活関連分野において幅広い視点でニッチで高付加価値なビジネスを創造し、事業展開するセグメント

旧セグメント: 製品群別の4つに分類

新セグメント: バリューチェーンでの位置付け、主たる担当業界によって再編成

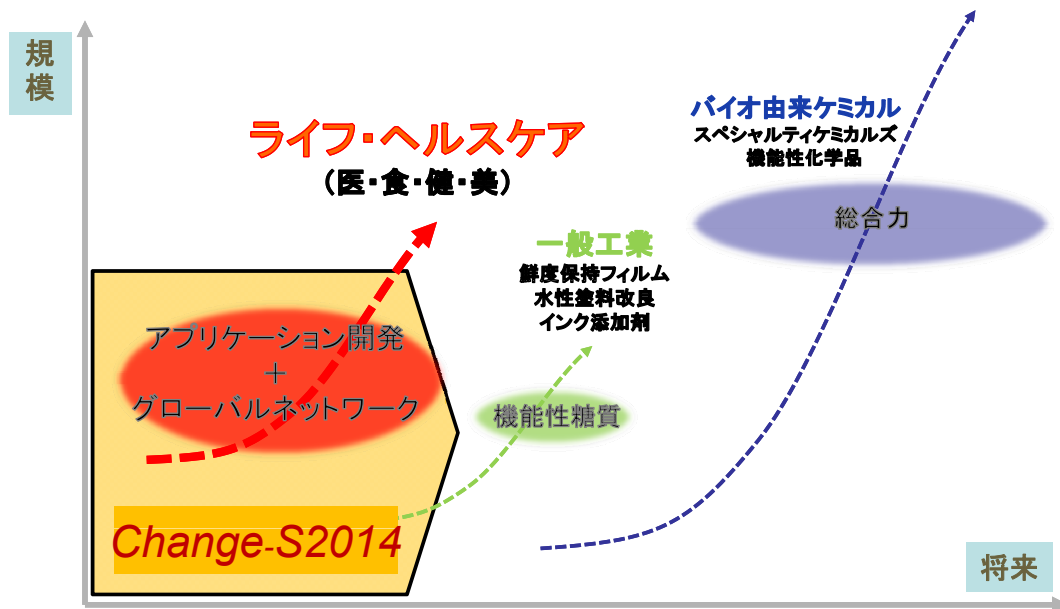
従来のセグメント

新セグメント



Change-S2014

林原との融合によるシナジー創出をスタート。Change-S2014では、商社機能（マーケティング、グローバルネットワーク）とメーカー機能（研究開発、アプリケーション開発、製造）の融合により、ライフ・ヘルスケア分野での事業拡大を目指す。



Change-S2014

技術革新の進展に合わせ、システムやユニットのみならず用途ニーズに適した素材や部材を包含した取り組みにより独自のビジネスモデルを創造し、グローバル規模で推進する。

機能素材領域

特殊有機化学品
樹脂・塗料原料

加工材料領域

エンジニアリングプラスチック
フィルム・シート
表面処理材

最終用途領域

再生可能
エネルギー発電

太陽光 風力 バイオマス



スマートグリッド

HEMS/BEMS
大容量蓄電池



環境配慮型自動車

カーエレクトロニクスデバイス
パワーモジュール
軽量ユニット



Change-S2014

中国 (Nagase ChemteX Wuxi)
成長性の高い中国市場向け製品の製造
および研究開発



新R&Dセンター
2012年度設立予定

米国 (Engineered Materials Systems Inc.)
特徴のある技術・製品をグローバルに発信する
米国製造拠点



日本 (Nagase ChemteX Corp.)
エポキシ事業グローバル展開の本部機能
先端エポキシ材料の研究開発
新クリーンルーム生産棟



<例:エポキシ事業のグローバル展開>

長年にわたって蓄積された樹脂変性技術を
ベースとしたエポキシ樹脂を中心とする幅広い
製品群を国内・海外で生産拠点・開発拠点
の拡大をし、さらなる独創的なソリューション
の提供を実現する。

Change-S2014

■連結運営体制の強化

- ・効率的なグループ運営体制の構築
- ・グループ間人材交流の推進
- ・財務基盤の強化
 - －適切な負債・資本のバランスを維持
 - －投資と事業キャッシュフローのモニタリング強化
 - －資産の効率性の面からの見直しを図る
- ・ITインフラの整備

■リスクマネジメントの深化

- ・グループ企業の内部統制・リスク管理の強化
- ・メーカーポジションの取引リスク管理の強化

■人材育成

- ・多様化する事業に対応できる人材の採用、育成、活用

Change-S2014

数値目標

2014年度

目標連結売上

8,000億円

目標連結営業利益

300億円

ROE

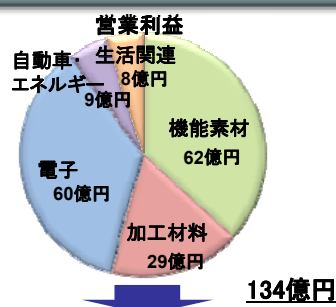
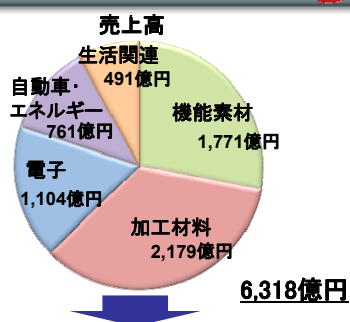
8.0%

投資額(3カ年)

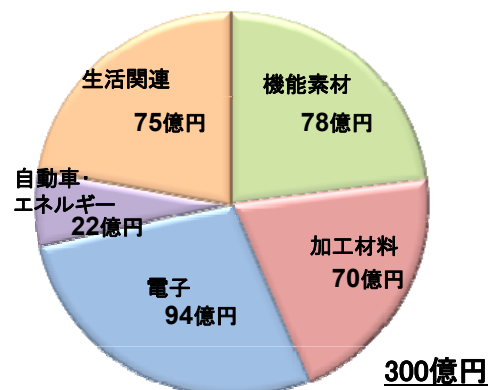
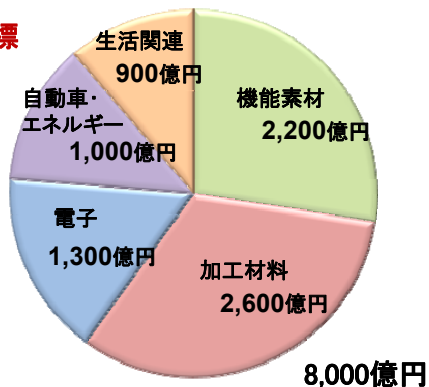
400億円

Change-S2014

2011年度



2014年度目標



※翰林原は生活関連セグメントに連結
 ※上記の事業セグメント値には、その他・全社共通セグメントを含めていない為、事業セグメント合計値と公表値は一致していません。

Change-S2014

変革

推進

拡大・強化

事業と運営の
質の向上

“CHANGE”の
加速

WIT2000

WIT21

WIT2008

“CHANGE” II

Change-S2014

投資額

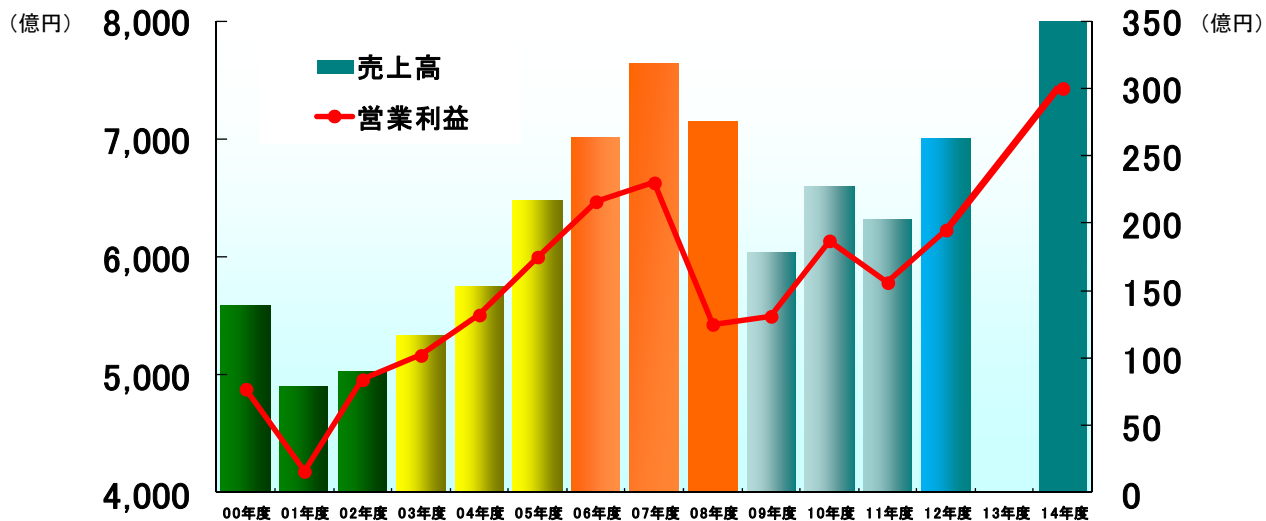
←202億円→

←237億円→

←277億円→

←1,074億円→

←400億円→



知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2012年5月25日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。